

ハンドベル演奏楽しみ 宮校 防災についても考え



音色を響かせる生徒たち

富士宮高校会議所(渡井美結・清彩華会頭)による第9回西町小劇場防災菓子「風祭(かざまつり)」試食会とハンドベル演奏会、アラツと歩こう宮ウオ

ーキングが6日、富士宮市の西町レトロ館を中心に開かれた。近隣住人ら約20人が来場し、演奏会を楽しんだほか防災菓子の試食で防災意識を高めた。

昔から風の神は丁重にまつれば豊作になり、愈ると作物に大きな被害をもたらすとされ、以前は各地で風祭が行われた。市内を流れる風祭川にも風祭の祭壇といわれる石が残されている。

同日は、風祭に込めた思いを忘れないようにとメンバーが発案した防災菓子「風祭」を試食。製造に協力した藤太郎、もちのき、華月の菓子のほか、県立富岳館高等学校食品加工部が制作した防災菓

子を試食して、災害に備える気持ちの大切さを伝えた。

「音楽で、富士宮を元気に!!」では、元特別支援学級教諭の佐野将人さんがマネジャーを務め、当時の生徒々人で構成するミュージックサークルが登場。これまでに、第4回ミュージックベル・トー

ンチャイム全国コンテスト銅賞など数々の賞に輝く実力派で、同日は『ただぼたさま』『見上げてごらん夜の星を』『千の風になって』など8曲で美しい音色を奏で、来場者を楽しませた。

終了後にはきらい創出を目指し、ご当地アイドル3776こと井出ちよのさんと西富士宮駅やお宮横丁周辺を散策したり、ミニライブで盛り上がりたりした。演奏中の静止画、動画はインスタグラムやXなどでアップしている。